

【令和7年度 有馬の杜コスモス保育園の保育】

		0歳児	満1歳児より	2歳児
子どもの保育目標		<ul style="list-style-type: none"> ・生理的な欲求を満たし生活リズムをつかむ ・安定した人間関係の基礎ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動範囲を広げ探索活動を盛んにする ・外界に対する好奇心や興味を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ・象徴機能や想像力を広げながら集団活動に参加する ・自分でしようとする気持ちが育つ
保育のねらい及び内容、配慮事項				
		0歳児	満1歳児より	2歳児
養護	生命の保持	◆一人ひとりの生活リズムを大切に、生理的欲求の充実を図る	◆生理的欲求をを満たし生活リズムの形成を促す	◆適度な運動と休息の充足
	情緒の安定	◆応答的な触れ合い ◆情緒的な絆の形成	◆温かなやり取りによる心の安定	◆自我の育ちへの受容と共感
教育	健やかに伸び伸びと育つ	<ul style="list-style-type: none"> ◆身体機能の発達 ・はう、歩く等の運動をしようとする。 ◆食事、睡眠等の生活のリズムの感覚が芽生える ・生理的欲求を十分に満たしてもらい気持ち良く生活する。 <p style="text-align: right;">【健康】</p>	<p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆歩行の確立による行動範囲の拡大 ・色々な遊びの中で十分に身体を動かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆排泄の確立 ◆運動、指先の機能の発達 ・身の回りのことに興味を持ち、自分でやろうとする気持ちが芽生える。
	身近な人と気持ちが通じ合う	<ul style="list-style-type: none"> ◆特定の大人との深い関わりによる愛着心の形成 ・あやしてもらおうと笑う等身近な人に親しみをもち関わろうとする。 ◆喃語の育みと応答による言葉の芽生え ・語りかけを喜び、それに応じて発声したり喃語で応じる関わりを楽しむ。 <p style="text-align: right;">【人間関係・言葉】</p>	<p>人間関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆周囲の人への興味、関心の広がり ・身近な大人や友だちに親しみをもち関わろうとしたり、模倣したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆自己主張の表出 ◆友だちとの関わりが増大 ・大人や友だちとの安定した関係の中で、遊びを共有し、共感する。 ・取り合いや喧嘩から、待つ・譲る等を知る。
	身近なものとの関わり感性が育つ	<ul style="list-style-type: none"> ◆身近なものとの関わり感性が育つ ・探索活動を十分に行い、感覚を豊かにする。 ◆身体の諸感覚認識による表現 ・身体を使って気持ちを表現する。 <p style="text-align: right;">【環境・表現】</p>	<p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆好奇心を高める ・土・砂・水・光や草花、生き物等、様々な自然に触れる。 ・身の回りのものに興味を持って関わり様々な遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆自然事象への積極的な関わり ・自然と触れ合う中で身近な生き物等に興味を持ち楽しむ。 ・遊びの中で様々な素材に触れる。
				<p>言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆言葉の獲得 ◆応答的な関わりにより話しはじめる ・語りかけややり取りの中で、簡単なしぐさや言葉で気持ちを表す。 ・繰り返しの読み聞かせを楽しむ。
			<p>表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆いろいろな素材を楽しむ ・絵の具や粘土等、様々な素材に触れ楽しむ。 ・体操したり踊ったり、身体を動かす楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆象徴機能の発達とイメージの膨らみ ・見立てたり模倣したりする遊びを楽しむ。 ・描く、破る、貼る等を楽しみ、ハサミに興味を持つ。 ・歌やリズムに合わせて身体を動かす。
食育(食を営む力)		いろいろな食べ物を見る・触る・味わう等の経験を通して、食べることに意欲を持つ	食材に興味を持ち、食べたい物、好きな食べ物が増え、意欲的に食べようとする	友だちと一緒に楽しい雰囲気の中で、意欲的に食べるようになる

		3歳児	4歳児	5歳児
子どもの保育目標		<ul style="list-style-type: none"> 身近な仲間や自然等の環境と積極的に関わり、意欲を持って活動する 基本的な習慣を身につける 	<ul style="list-style-type: none"> 信頼感を深め、仲間と共に感情豊かな表現をする 生活に必要な基本的な習慣を進んでする 	<ul style="list-style-type: none"> 集団生活の中で自立的・意欲的に活動し、体験を積み重ねる 安全に過ごすために必要な基本的な習慣や態度を身につける
保育のねらい及び内容、配慮事項				
		3歳児	4歳児	5歳児
養護	生命の保持	◆基本的生活習慣の形成	◆運動と休息のバランスと調和を図る	◆健康・安全への意識向上
	情緒の安定	◆主体性の育成	◆自己肯定感の確立と他者の受容	◆心身の調和と安定により自信を持つ
教育	健康	<ul style="list-style-type: none"> ◆意欲的な活動 ◆基本的習慣の確立 <ul style="list-style-type: none"> 生活の中で援助してもらいながら、自分で出来た事に喜びを感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆健康への関心 ◆体全体の協応運動 <ul style="list-style-type: none"> 自分の身体に関心を持ち、異常を感じたら自分から知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆健康増進とさらなる挑戦への意欲 <ul style="list-style-type: none"> 基本的生活習慣を自ら行うことができる。 危険な物、場所、行動を知り、気をつけて活動する。
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ◆道徳性の芽生えと並行遊びの充実 <ul style="list-style-type: none"> 友だちと遊ぶことを楽しむ。 取り合いや喧嘩をしながら、相手の気持ちに気付いたり、保育者の仲立ちで譲り合ったり仲直りしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆仲間との深いつながり <ul style="list-style-type: none"> 集団で遊んだり活動したりすることを楽しむ。 相手の気持ちを分かろうとし、自分の気持ちを抑えることを少しづつ学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆社会性の確立と自立心の育成 <ul style="list-style-type: none"> 友だちと協力することの大切さを知る。 当番活動等に主体的に取り組み、自分たちの生活を自分たちで進めていく。 生活に関係の深い人に親しみを持つ。
	環境	<ul style="list-style-type: none"> ◆身近な環境への積極的な関わり <ul style="list-style-type: none"> 発見したり、面白がったり、不思議がったりし、心を動かす。 新しい事や物(遊具、素材)に触れ、挑戦しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆社会事象への関心の高まり <ul style="list-style-type: none"> 季節の移り変わりに気付き、自然に親しみ、それらを使って遊ぶことを楽しむ。 生活の中で数・量・形等に興味・関心を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆社会、自然事象へのさらなる関心と生活への取り入れ <ul style="list-style-type: none"> 四季折々の自然に親しみ、それらを使って遊ぶことで、素敵さ、大切さを知る。 生活の中で文字に興味・関心を持つ。
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> ◆言葉の美しさ、楽しさへの気付き ◆生活の中での必要な言葉の理解と使用 <ul style="list-style-type: none"> 会話を楽しむ。 経験した事、感じた事、してほしい事等を言葉で表す。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆聞く力、伝える力の獲得 <ul style="list-style-type: none"> ストーリー性のあるお話に興味・関心を持ち、理解して聞く。 自分の思いを言葉で伝える楽しさを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆文字や数字の獲得による遊びの発展 <ul style="list-style-type: none"> 歌や絵本、カルタ等の遊びを通し、言葉の美しさや楽しさ等に気付く。 人の話を共感して聞き、相手に分かるように話す。
	表現	<ul style="list-style-type: none"> ◆自由な表現と豊かな感性の育ち <ul style="list-style-type: none"> 友だちと一緒に歌ったり、音楽に合わせ思いきり身体を動かしたりすることを楽しむ。 様々な素材を遊びに取り入れ楽しむ。 自由に描くことを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆豊かな感性による表現 <ul style="list-style-type: none"> 表現する気持ち良さ知り、積極的に参加する。 歌や簡単な楽器遊びを楽しむ。 様々な素材や道具を使い描いたり作ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ダイナミックな表現 ◆感動の共有 <ul style="list-style-type: none"> 自分のイメージを動きや言葉で表現し、演じて遊ぶ楽しさを味わう。 製作することに意欲を持ち、過程を楽しむ。 友だちと一緒に遊びを展開し、創り上げることを楽しむ。
食育(食を営む力)		<ul style="list-style-type: none"> ・食べることの楽しさを知る ・基本的な食事のマナーを知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の恵みの大切さを知る ・基本的な食生活や食事のマナーを身につける 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事と栄養のバランスをとる ・基本的な食生活が身につく、食事ができる
行事を通して、食の伝統文化について知り、様々なことに関心を持つ				

<p>保健支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康及び発育発達状態の定期的、継続的な把握 ・嘱託医による健康診断(内科・歯科) ・登園時及び保育中の状態観察、異常が認められた時の適切な対応 ・年間保健指導計画 ・年1回職員健康診断、毎月の検便 	<p>小学校以上の教育との接続</p>	
<p>環境・衛生・安全</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内外の設備、用具等の清掃及び消毒等、安全管理及び自主点検 ・子ども及び職員の健康・衛生面の啓発、保持 ・感染予防対策(インフルエンザ・コロナウイルス等)及び保護者との情報共有 ・警察署指導不審者対応訓練及び防犯教室 ・ALSOKによる安全管理 ・非常110番 ・不審者侵入を防ぐための電気錠使用 ・定期的な点検及び園庭整備 	<p>幼児期の終わりまでに育って欲しい姿 10項目</p>	<p>資質・能力の3つの柱 心情・意欲・態度</p>
<p>保護者支援</p>	<p>全ての子どもの健やかな育ちを実現することができるよう家庭と連携し支援していく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者との相互理解 ・保護者の状況に配慮した個別支援 ・不適切な養育等が疑われる家庭への支援 	<p>ア 健康な心と体 イ 自立心 ウ 共同性 エ 道徳性・規範意識の芽生え</p>	<p>豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かたり、できるようになったりする 【知識及び技能の基礎】</p>
<p>地域支援・子育て支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の子どもの保護者等に対して保育所保育の専門性を生かした子育て支援を積極的に行うよう努める。 ・宮前区子育て支援連携会議に参加し、現状の把握に努め、情報交換を行う。 ・保護者の声を聞きながら、育児相談等を行い、地域で育児不安を抱えている保護者に支援を行う。 <p>(園庭開放・あそびにおいて！・育児相談・実習生の受け入れ・卒園児交流・高齢者交流)</p>	<p>オ 社会性との関わり カ 思考力の芽生え</p>	<p>気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする 【思考力、判断力、表現力などの基礎】</p>
<p>職員の資質向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・質の高い保育を展開するため、一人ひとりの職員についての資質向上及び職員全体の専門性の向上を図るよう努める。保育所職員に求められる専門性を理解し、保育の質の向上に向けた組織的な取り組みを行う。園内研修、外部研修等、体系的な研修計画を作成し、結果を活用する。 ・不適切な保育を未然に防止するため、子どもとの関わり方が適切であるか振り返り、子どもの最善の利益が尊重されているか意識する。また、不適切な保育が生じにくい職場環境を整備する。 	<p>キ 自然との関わり・生命尊重 ク 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚</p>	
<p>小学校との連携</p>	<p>保育所保育が、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることを配慮し、幼児期にふさわしい生活を通じて、創造的な思考や主体的な態度などの基礎を培う。育まれた資質・能力を踏まえ小学校教師との意見交換、研究の機会などを設け「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」を共有するなど、保育所保育と小学校教育との円滑な接続に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣小学校見学と1年生との交流 ・宮前区幼保小園長・校長連絡会 ・宮前区幼保小代表者連絡会 ・宮前区実務担当者会議 	<p>ケ 言葉による伝え合い コ 豊かな感性と表現</p>	<p>心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする 【学びに向かう力、人間性等】</p>

